

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	一般教養B1（映画基礎1）
科目基礎情報				
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期 前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	毎回プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。			
担当教員情報				
担当教員	鈴木 庸尤	実務経験の有無・職種	有・映像制作業務	
学習目的				
この科目を受講する学生には、100年以上に渡る映画の歴史や古今東西の様々な映像表現を通して、映画を形作る重要な表現（脚本、ビジュアル・デザイン、撮影技術、編集手法、音響効果など）に関する基本的な知識を身につけてもらう事を第一の目的とします。映像表現、技術の過渡期、大変革期である現在において、歴史を知る事は将来への指針となるでしょう。さらに身につけた知識を自己の作品制作スキル向上、自己表現手段に役立てて欲しいと思います。				
到達目標				
知識というものは講義を聴いただけではなかなか身につけません。授業で観た映画について調べる、映画で使われていた技術を実習授業で使ってみるなど、自ら行動する事でしっかりと身につける事ができます。この科目で得た知識をもとにシナリオを書く、映像作品を作るなど作品作りに役立ててもらえる事を目標といたします。				
教育方法等				
授業概要	ビデオ、スライドを使って講義を行います。各回ごとにプリントを用意します。プリントの余白にメモを取るか、ノートにメモを取るように努めて下さい。授業中の私語は禁止しますが、ディスカッションは歓迎いたします。講義を聞いているだけよりも質問をしたり、話し合ったりした方が知識は高まります。			
注意点	理由のない遅刻、欠席は認めません。社会へ出てからは最低限のルールだからです。授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止します。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受ける事への妨害行為となる事から厳禁です。専門学校は専門知識や技術の習得だけを目的とするものではありません。学生から社会人への移行の場でもあります。社会人としてのマナーや心構えも身につけて欲しいです。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	60%	学期末に試験を行います。成績は試験結果と出席率の総合評価。	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
	平常点	40%	特に学習態度の悪い者に対してはペナルティーを科す。	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	映画の歴史（1）	映画の原点について知る。		
2回	映画の歴史（2）	サイレント映画について知る。		
3回	映画の歴史（3）	サイレント映画について知る。		
4回	映画の歴史（4）	トーキー映画、カラー映画について知る。		
5回	映画の歴史（5）	1930年代～1940年代の映画について知る。		
6回	映画の歴史（6）	1950年代の映画について知る。		
7回	映画の歴史（7）	1950年代の映画について知る。		
8回	映画の歴史（8）	1960年代の映画について知る。		
9回	映画の歴史（9）	1960年代の映画について知る。		
10回	映画の歴史（10）	1970年代の映画について知る。		
11回	映画の歴史（11）	1970年代の映画について知る。		
12回	映画の歴史（12）	1970年代の映画について知る。		
13回	映画の歴史（13）	1980年代の映画について知る。		
14回	映画の歴史（14）	1980年代の映画について知る。		
15回	映画の歴史（15）	1980年代の映画について知る。／試験対策～基本の総復習		